

7月の消防広報重点事項

発行 令和2年6月9日

盛岡市総務部消防対策室

編集 盛岡中央消防署

●7月1日は『国民安全の日』です。

『国民安全の日』は、国民の一人一人がその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、火災などの日常生活の安全を脅かす災害の発生の防止を図るため、昭和35年に創設されました。

消防署では、この行事の一環として、一般家庭を訪問し、住宅火災の予防方法や住宅用火災警報器の設置指導を行います。

この機会に、日常生活の安全について見直してみましょう。



●風水害に備えましょう！

日本列島には、毎年7月から10月にかけて台風が上陸し、土砂災害や河川の氾濫等、大きな被害が発生しています。

台風に備えて、次のような準備をしておきましょう

- ① 窓や網戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強する。
- ② 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定し、格納できるものは家の中に格納する。

災害が発生し、又は発生するおそれのある場合には、市町村から**5段階の警戒レベルに区分して避難勧告等が発令**されます。この避難勧告等は、テレビ、メール等の様々な手段を通じて伝達されますが、こうした避難に関する情報をどの手段から入手するか、入手した後、どのような行動をとればよいか予め確認しておきましょう。



●熱中症を予防しましょう！

<熱中症の予防のために>

行動の工夫

- ① 日陰を選んで歩く。
- ② 涼しい場所に避難する。
- ③ 適宜休憩する。
- ④ 天気予報を参考にして外出を検討する。
- ⑤ こまめに水分を補給する。

衣服の工夫

- ① 吸汗・速乾素材等を活用する。
- ② 襟元はゆるめて通気する。
- ③ 日傘や帽子を使う。

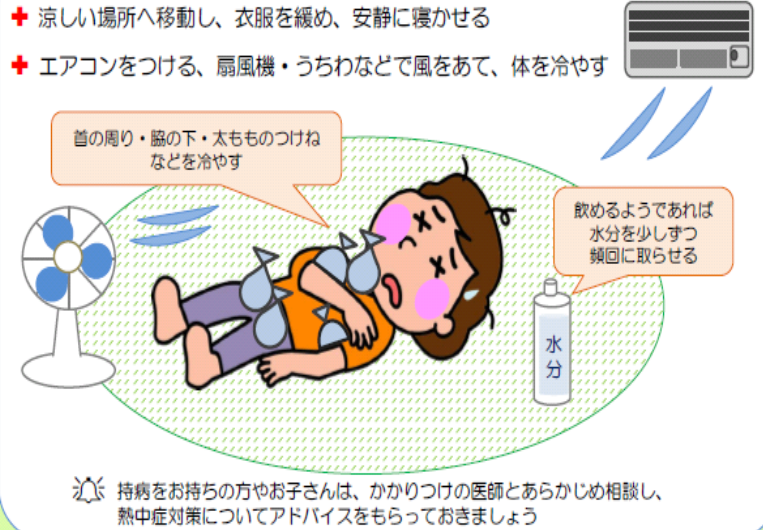
住まいの工夫

- ① 外部の熱を断熱する。(ブラインドやすだれ、日射遮断フィルム等)
- ② 風通しを利用する。(網戸・吹き抜け等)
- ③ 空調設備を利用する。(我慢せずに冷房にスイッチを入れる。)

<熱中症の危険信号>

- ◆ 高い体温
- ◆ ズキンズキンとする頭痛
- ◆ 意識の障害
- ◆ 赤い・熱い・渴いた皮膚
- ◆ めまい、吐き気

熱中症の応急手当



●盛岡市内の1月から5月までの火災件数

	令和2年	令和元年	比較増減
火災件数	14件	22件	8件減
死者数	2人	2人	増減なし

●令和2年5月中の火災3件の内訳

- 5月 3日 羽場 非住家1棟部分焼
- 5月17日 山岸二丁目 非住家2棟全焼及び1棟部分焼
- 5月31日 本町通三丁目 住家1棟ぼや